

仮想難関大【2次関数～通過点に関する論証～】

2次関数  $y=f(x)$  は  $x$  軸と異なる2つの共有点を持ち、その共有点の1つが  $(2, 0)$  である。このとき、次の問いに答えよ。

- (1)  $y=f(x)$  が  $(1, -2), (-1, 6)$  を通るとき、 $f(x)$  を求めよ。
- (2) 2次関数  $y=f(x)$  が以下の条件 (i), (ii) を満たす。
  - (i)  $2 \leq x \leq 3$  において、 $x=2$  で最小、 $x=3$  で最大となる。
  - (ii)  $(9, -2), (4, -1), (1, -2), (-1, 6)$  のうち2点のみを通る。このとき、 $f(x)$  をすべて求めよ。

<自作>

【戦略】

- (1)  $y=ax^2+bx+c$  においてもよいですが、ここでは  $x$  切片の情報を活かし、

$$f(x)=a(x-2)(x-\beta) \quad (a \neq 0, \beta \neq 2)$$

とおいて処理したいと思います。

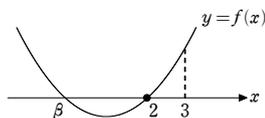
- (2) 条件 (ii) がクセモノでしょう。

まともに考えると通過点として  ${}_4C_2 (=6)$  通りの候補があるため、鬱陶しいことこの上ないと思います。

何とかして、計算量を抑えつつ候補を削ることを考えたいところです。

式でゴリゴリ進めるというよりも、視覚的に条件を満たす  $y=f(x)$  のグラフを考えていくと、次々と「非通過点」が見えてきます。

例えば、 $a > 0$  (下に凸) のときは



という状況なので、 $(9, -2), (4, -1)$  は明らかに通りません。

【解答】

- (1)  $y=f(x)$  は  $(2, 0)$  を通り、 $x$  軸と異なる2つの共有点をもつので

$$f(x)=a(x-2)(x-\beta) \quad (a \neq 0, \beta \neq 2) \dots\dots (*)$$

と表せる。

$y=f(x)$  が  $(1, -2), (-1, 6)$  を通るとき

$$\begin{cases} -2 = -a(1-\beta) \dots \textcircled{1} \\ 6 = -3a(-1-\beta) \dots \textcircled{2} \end{cases}$$

①より、 $a\beta = a - 2 \dots \textcircled{1}'$

②より、 $3a + 3a\beta = 6$  で、①'を代入すると

$3a + 3(a - 2) = 6$ , すなわち  $a = 2$  を得る

このとき、①'より、 $2\beta = 0$  で、 $\beta = 0$

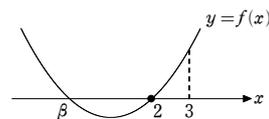
ゆえに、(\*)から  $f(x) = 2x(x-2)$ , すなわち  $f(x) = 2x^2 - 4x \dots \textcircled{\square}$

- (2) [1]:  $a > 0$  のとき

条件 (i) より  $y=f(x)$  のグラフは次の (図1) のようになる。

このとき、 $\beta < 2$  である。

$x > 2$  の範囲で  $f(x) > 0$  であることに注意すると



(図1)

$(9, -2), (4, -1)$  は通らない。

したがって条件 (ii) から、 $(1, -2), (-1, 6)$  を通ることになり、

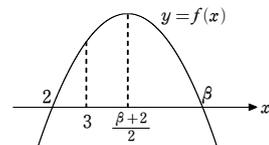
(1) から  $f(x) = 2x^2 - 4x$  (このとき  $\beta < 2$  を満たす。)

- [2]:  $a < 0$  のとき

条件 (i) より、 $y=f(x)$  のグラフは次の (図2) のようになる。

このとき、 $\frac{\beta+2}{2} \geq 3$ , すなわち

$\beta \geq 4 \dots (\star)$  である。



(図2)

$x < 2$  の範囲で  $f(x) < 0$  であるから

$(-1, 6)$  は通らない

$2 \leq x \leq \beta$  の範囲において  $f(x) \geq 0$

( $\star$ )より、 $x=4$  は  $2 \leq x \leq \beta$  の範囲に含まれるため、 $f(4) \geq 0$

ゆえに、 $(4, -1)$  は通らない。

したがって条件 (ii) から  $y=f(x)$  は  $(9, -2), (1, -2)$  を通る。

(\*) のようにおくと、
$$\begin{cases} -2 = 7a(9-\beta) \\ -2 = -a(1-\beta) \end{cases}$$

(1) と同様にこれら2式を  $a, \beta$  について解くと  $a = -\frac{2}{7}, \beta = 8$

(\*)より、 $f(x) = -\frac{2}{7}(x-2)(x-8)$

$$= -\frac{2}{7}(x^2 - 10x + 16)$$

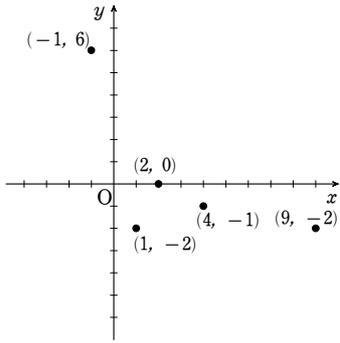
$$= -\frac{2}{7}x^2 + \frac{20}{7}x - \frac{32}{7}$$

以上 [1], [2] から

$$f(x) = 2x^2 - 4x, -\frac{2}{7}x^2 + \frac{20}{7}x - \frac{32}{7} \dots \textcircled{\square}$$

【総括】

タカが2次関数となめてかかると火傷するかもしれません。



と通過点候補の点をプロットしてみても、どれもあり得そうでイヤらしく設定してあります。